

第4学年西組 社会科学習指導案

学習指導者 滝井 康隆

1 単元名 「発展への架け橋 ～瀬戸大橋にかけた先人たち～」

2 単元について

(1) 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

瀬戸大橋を架げるために尽力した先人の働きとその価値について明らかにするために、当時の世の中の課題や人々の願いに着目して、時空間・立場を広げて調べ、地域の発展や人々の生活の向上と瀬戸大橋を関連付けて考える。そして、友達と交流し納得できる考えを自分に取り入れながら、さらに考えを深め、これからの香川県の発展に向けた瀬戸大橋の在り方について考えている。

知識・理解

地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により生活の向上に貢献したことを理解できる。また、見学・調査したり、資料で調べたりして、年表等にまとめることができる。

学びに向かう力・人間性等

地域の発展に尽くした先人に興味をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。

思考力・判断力・表現力等

当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することができる。

本単元では、瀬戸大橋を架げるために計画段階で尽力した金子正則知事など、複数の人物を取り上げる。また、架橋の仕方だけでなく社会の変化と橋の関係を考え、今後の橋の在り方を考えていく。

まず、かつて瀬戸内海は船で渡るしかなく、大きな海難事故も起きたことを知った子供たちは、当時の人々は本州と四国を速く安全に行き来したいと願っていたことに気付いていくだろう。次に、瀬戸内海の自然条件などから生じる多くの問題を克服しながら、橋を架けていった杉田秀夫氏の働きを理解していく。ここで、時間的視野を広げると、10年で架けられた瀬戸大橋は、計画から着工するまでに、反対運動などもあり、20年必要だったことに気付く。一方、空間的視野を広げると、現在の明石海峡大橋等も含め、複数のルートが計画されていた様子が分かり、他ルートより先に瀬戸大橋を着工させるために様々な努力があったことを理解していく。そして、瀬戸大橋架橋による生活への影響を調べていく。

「昔の人は長い時間をかけて船で渡っていたね」「橋が通れないと困るのは通行客だけではないと思うよ」「そうだね。お店の人は商品が届かなくて困るね」などと、通行客から販売者へと立場を広げてその利用法を考えていくことで、瀬戸大橋が人々の移動だけでなく、物流をも担っているという重要性を捉えていくだろう。「瀬戸大橋は人だけでなく、物も渡っているのだね」「確かに、橋が架かった後に、お店の数が増えたね」「巨大な橋を架げるための努力がなかったらこうはならなかったよ」「瀬戸大橋を架けてくれた人々のおかげだな」などと、先人の働きによって本州と四国が橋で結ばれることで、人々が移動しやすくなったと考えていた子供たちは、経済的な利益をも生み出すことができたのだと、香川県が発展するために必要なものであった瀬戸大橋の価値を捉え直していく。さらに、瀬戸大橋を架けた人々の働きの価値に気付いたことで、橋のある自分たちの地域に誇りを持ち、瀬戸大橋を有効利用する方法や維持していくための工夫など、これからの在り方についても考えていくだろう。

(2) 子供の実態

メタ認知に関する実態調査によると、メタ認知を働かせることが苦手で、自らの学びを客観的に見つめにくい子供が34名中12名いることが分かった。これら12名の子供の教科に関する実態調査によると、自分の考えを説明するのが苦手だと答えた子供が8名、分からないときは友達に聞くのではなく、自分で調べる子供が7名いた。これらの子供たちは、友達に説明することに自信がもてなかったり友達の意見を聞くことに興味をもてなかったりするため、交流しにくく、協働のよさを感じにくいと考えられる。

(3) メタ認知を促す働きかけ

① 課題設定以前

これまでの学習の流れが分かりやすいようにまとめた補助黒板を見て振り返ることで、既習と未習を区別しながら学習課題を設定していくことができると考える。【瀬戸大橋架橋の軌跡】(2~11時間目)

② 課題解決中

自分の考えの理由や根拠を明らかにして説明するために発表ボードを使う。このボードには、自分の考えを書くとともに、そう考える根拠としてこれまでの学習で学んだグラフや写真などのカードを貼り付ける。その後、このボードを使いながら考えとその理由を発表することで、周りの子供にも理由が明確に伝わるとともに、聞いている子供は相手の考えとその理由を自分と比較し、自分の考えを再考しやすくなると考える。【発表ボード】(6~10時間目)

③ 課題解決後

本時の学習を振り返り、自分が課題解決に至った理由について考える活動を設定する。そのために、「友達の意見が参考になった」や「資料を読んでよく分かった」などといった項目を示したグラフを用意する。単元を通してこの活動を行い、毎時間自分が理解に至った理由を記録していくことで、自分がよく使う解決法や、協働のよさに気付いていくだろう。また、同じ項目での振り返りを継続することで、子供たちは授業中もそれらを意識しながら活動すると考える。【振り返りグラフ】(1~11時間目)

3 単元計画 (総時数 11時間)

瀬戸大橋架橋に関わった先人を複数取り上げることによって、歴史的な大事業には多くの人の協力が不可欠であることを理解できるようにする。また、子供が興味をもちやすい、困難な条件の中で架橋していった様子を先に調べた後、計画段階について考えていくことで、子供の関心が高まるようにする。

次	学習の流れ及び主な子供の意識
第一 次	<p>① なぜ1兆1300億円もかけて瀬戸大橋を架けたのだろう</p> <p>瀬戸大橋と有名な建物の建設費を比較し、その必要性について話し合う。かつて瀬戸内海は船で渡るしかなく時間がかかっていたことや、紫雲丸の事故について知ること、当時の生活の様子を理解するとともに当時の人々は本州と四国が陸続きとなって速く安全に移動することを願っていたことに気付く。</p>
	<p>②~④ 杉田秀夫さんたちはどうやって瀬戸大橋を架けたのだろう</p> <p>数々の問題点を解決しながら橋を架けていった杉田秀夫氏の働きを調べる。漁業に影響を与えないように海底を発破し、固い岩盤を露出させたことや、巨大な橋脚を設置するために何度も潜水作業が行われたことなど、新しい技術や、人々の努力によって橋が架けられていったことを知る。</p>
第二 次	<p>⑤~⑦ なぜ着工までに20年もかかったのだろう</p> <p>瀬戸大橋の着工までの出来事を調べ、金子正則知事が様々な活動を行った理由を話し合い、香川県の発展のために橋が必要だと考えていたこと、橋の建設費を用意するために国の協力が必要であったことに気付く。また、櫃石島などの住民の反対に対し、番正辰雄市長らが話し合いによって解決していったことを知る。</p>
	<p>⑧⑨ 瀬戸大橋30周年イベントでマラソン大会が開かれないうのはなぜだろう</p> <p>架橋後の瀬戸大橋について調べ、節目の年に行われているイベントで、開通20周年に行われた橋上マラソン大会が30周年には行われなかった理由を話し合う。生鮮食品を輸送するなど、瀬戸大橋を利用した物流が増加しているため、瀬戸大橋を通行止めにするのができなかつたことに気付く。</p>
	<p>⑩ なぜ瀬戸大橋が必要なのだろう (本時10/11)</p> <p>瀬戸大橋ができたことによって、人だけでなく物が瀬戸内海を行き来するようになり、自分たちの生活が向上してきたことを捉える。</p>
第三 次	<p>⑪ 瀬戸大橋とは、どのような橋だといえるだろう</p> <p>これまでの学習を振り返り、現在の自分たちの生活の発展と瀬戸大橋の価値を関連付け、瀬戸大橋を架けた先人たちのおかげで今の生活ができていることに気付く、これからも瀬戸大橋を維持していこうという気持ちを高め、有効に利用するための方法について話し合う。</p>

4 本時の学習指導

(1) 目標

瀬戸大橋が必要である理由について話し合う活動を通して、本州四国間で人や物の移動が速く安全にできるようになり、人々の生活が向上したという瀬戸大橋の価値を捉えることができる。

(2) 学習指導過程

	学習活動	主な子供の意識												
課題設定以前	1 学習課題を確認する。 【瀬戸大橋架橋の軌跡】	イベントのために橋を止められない橋がなかったときには、船での移動は、たくさんの人や物が瀬戸大橋を渡るしかなく、時間もかかったし出ないこともあったよ。 昔に比べると、香川県にはコンビニエンスストアなどのお店も増えてきて、便利な生活ができるようになってきているよ。 でも、日本全国を見てみると、同じような変化が起こっているよ。橋がなくても同じような変化が起きるのだな。香川県に瀬戸大橋がなくても今のような生活ができるのかな。												
なぜ瀬戸大橋が必要なのだろう														
課題解決中	2 瀬戸大橋が必要な理由を話し合う。 【発表ボード】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">船を使ったときの移動時間を示す資料から考えよう。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">瀬戸大橋を利用した自動車貨物輸送量から考えよう。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">瀬戸大橋を利用する通行客のグラフから考えよう。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">瀬戸大橋がなければ運ぶのに時間がかかってしまうよ。新鮮なものを運ぶにくいから、県外のものが入りにくいよ。</td> <td style="padding: 5px;">瀬戸大橋があるから、24時間いつでも商品が届けることができるようになったよ。</td> <td style="padding: 5px;">瀬戸大橋があるから、簡単に移動することができるので、通勤や通学で岡山から香川に行けるよ。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">香川県の新鮮な食品を本州に届けられなくなってしまふよ。</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">瀬戸大橋があるから、岡山と香川の間をいつでも、速く行き来することができるようになったね。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">もしも瀬戸大橋がなかったら、香川県にはコンビニエンスストアなどのお店が今よりも少なかったかもしれないね。橋ができたことによって、自分たちの生活は変わったのだね。金子知事たちは、瀬戸大橋を架けることで香川を良くしようと考えていたね。</td> </tr> </table>	船を使ったときの移動時間を示す資料から考えよう。	瀬戸大橋を利用した自動車貨物輸送量から考えよう。	瀬戸大橋を利用する通行客のグラフから考えよう。	瀬戸大橋がなければ運ぶのに時間がかかってしまうよ。新鮮なものを運ぶにくいから、県外のものが入りにくいよ。	瀬戸大橋があるから、24時間いつでも商品が届けることができるようになったよ。	瀬戸大橋があるから、簡単に移動することができるので、通勤や通学で岡山から香川に行けるよ。	香川県の新鮮な食品を本州に届けられなくなってしまふよ。	瀬戸大橋があるから、岡山と香川の間をいつでも、速く行き来することができるようになったね。		もしも瀬戸大橋がなかったら、香川県にはコンビニエンスストアなどのお店が今よりも少なかったかもしれないね。橋ができたことによって、自分たちの生活は変わったのだね。金子知事たちは、瀬戸大橋を架けることで香川を良くしようと考えていたね。		
船を使ったときの移動時間を示す資料から考えよう。	瀬戸大橋を利用した自動車貨物輸送量から考えよう。	瀬戸大橋を利用する通行客のグラフから考えよう。												
瀬戸大橋がなければ運ぶのに時間がかかってしまうよ。新鮮なものを運ぶにくいから、県外のものが入りにくいよ。	瀬戸大橋があるから、24時間いつでも商品が届けることができるようになったよ。	瀬戸大橋があるから、簡単に移動することができるので、通勤や通学で岡山から香川に行けるよ。												
香川県の新鮮な食品を本州に届けられなくなってしまふよ。	瀬戸大橋があるから、岡山と香川の間をいつでも、速く行き来することができるようになったね。													
もしも瀬戸大橋がなかったら、香川県にはコンビニエンスストアなどのお店が今よりも少なかったかもしれないね。橋ができたことによって、自分たちの生活は変わったのだね。金子知事たちは、瀬戸大橋を架けることで香川を良くしようと考えていたね。														
課題解決後	3 本時の学びをまとめ、学習の振り返りをする。 【振り返りグラフ】	瀬戸大橋がなければ、瀬戸内海をいつでも速く渡ることができない。瀬戸大橋は人が渡るために必要だと思っていたけど、物を運ぶためにも必要だ。瀬戸大橋がないと香川県はほかの県と同じように発展しなかったかもしれない。 友達と話し合うことで、自分の考えがはっきりしてきたよ。資料を見ると、瀬戸大橋が必要な理由が分かったよ。 金子知事たちががんばったから、今のような生活ができているのだね。瀬戸大橋はこれからも守り続けていかなければならないな。												

提
案
授
業
一
日
目
指
導
案

(3) 授業の詳細

前時までの子供の意識 学習活動1

これまでに子供たちは、様々な苦勞を乗り越えながら架橋工事がなされたこと、着工に至るまでも様々な問題を解決してきたことを学んでいる。本時導入では、これまでの既習事項を時系列に沿ってまとめた補助黒板を見ながら、瀬戸大橋がなかったところに比べ、架橋後は移動時間が短縮されたこと、本州四国間で通勤・通学をしている人が増えていること、人だけでなく物も運ばれていることなど分かっていることを確認する。**【瀬戸大橋架橋の軌跡】**香川県において、コンビニエンスストアなどの店が増えている理由として、「瀬戸大橋があるから」といった意見が出されるだろう。そこで、日本全国でも同じような変化が起こっていることを知らせ、橋がなくても同じような変化が起こったのではないかと問う。子供たちは、橋がなければならぬ理由を考えていこう。

学習活動2

まずは、自分で考えをつくっていく。その際には、これまでの学習で学んできた、瀬戸大橋を利用する通行客を示すグラフや、瀬戸大橋を利用した自動車貨物輸送量の変化を示すグラフ等を根拠として示しながら、瀬戸大橋ができたことによる変化について考えていく。例えば、ボードに根拠となるグラフを貼り付け、通行客が増えていることを示しながら、「これだけ多くの人が利用しているので、瀬戸大橋がなかったら、この人たちは困る」などと考えたことを記述していこう。**【発表ボード】**そうしてできた考えを交流する際には、ボードを使って自分の考えとその根拠を見せながら、そう考える理由を交流する。「瀬戸大橋がなければ、行くのに時間がかかる船で運ばなければならないから、新鮮なものが運べないよ」「船は止まることもあるから、毎日商品を届けることができないかもしれないよ」「それじゃあ、商品を用意できず売り切れになってしまうね」「昔は船で渡っていたから、いつでもというわけにはいかなかったね」「瀬戸大橋ができることによって生活は便利になったのだね」などと考えを深めていこう。

全体での交流では、瀬戸大橋がなかったころは海を渡るために時間がかかっていたこと、濃霧や強風の影響で時には渡れないこともあったことなどを押さえる。そのころと比べると、人や物を香川県から本州へ運ぶことが速く簡単になったこと、また、橋によって本州四国間の移動が天候に左右されにくくなったことなどを確認する。子供たちは、瀬戸大橋によって物が運ばれるようになり、自分たちの生活が向上していったことを捉えていこう。

ただ、コンビニエンスストアなどの店舗数の増加は社会全体の変化であるため、一概に橋がなければ起こらなかった変化であるとは断定できないことも、他県のコンビニエンスストアの数を示す資料を使いながら押さえたい。

学習活動3

終末には、本時分かったことを基に、瀬戸大橋が必要な理由をノートに記述し、まとめをする。その後、それぞれの学びを振り返り、本時の課題を解決することができた要因を考える時間を設定する。**【振り返りグラフ】**子供たちは、参考になったと考える項目に日付を記入して記録する。これまでの積み重ねから、自らの得意な活動や協働のよさを意識しながら、本時の学習を振り返っていこう。全体で本時のまとめを交流し、先人の働きと生活の向上をつなぎ、表出した次に考えたいことを共有し、次時へとつないでいきたい。

友達の意見が参考になった	資料を読んでもよく分かった	考えの濃いに気付いた	次に考えたいことなど

【振り返りグラフ】

(4) 評価

社会に起こった変化と瀬戸大橋を関連付けて考え、瀬戸大橋の価値について話し合い、友達の考えを取り入れながら、瀬戸大橋によって生活が向上したと香川県が発展したことを捉えている。

【方法：発言・様相・記述】